

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	心理学
科目基礎情報					
科目番号	0010		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気工学分野		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『心理学』 (有斐閣)				
担当教員	小杉 和寛,加藤 岳人				
到達目標					
1. 自我と人格について理解し、その形成要件を説明できる。 2. 自我と他者との関係を理解し、豊かな人間関係の要件を説明できる。 3. 自我と文化の関係、欲求の達成について理解できる。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		自我と人格について深く理解し、自己形成に応用できる。	自我と人格について説明できる。	自我と人格について説明できない。	
評価項目2		自我と他者との関係を理解し、自己形成に応用できる。	自我と他者との関係を理解できる。	自我と他者との関係を理解できない。	
評価項目3		欲求の達成について深く理解し、自己形成に応用できる。	欲求の達成について理解できる。	欲求の達成について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 A JABEE a					
教育方法等					
概要	人間は一人一人が独立した人格を持つ。同時に人間は社会に参加し、人間界の中で生きていく。科学は主観を排し、客観の世界を明らかにする役割を持つ。しかし、心を痛め苦悩する人間の特性は否定できない。この講義を通し、主観的世界を理解する。				
授業の進め方・方法	講義形式。 教科書：無藤隆ほか著『心理学』(有斐閣, 2004年) 期末試験の得点により可否判定をする。60点以上で合格である。最終評価は可否判定点と同じである。 再試験は60点以上で合格とする。				
注意点	「人によって傷ついた心は人によって癒される」という言葉の意味をあたたく理解できるようになることを期待します。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	自己とは何か	自我の多層性を理解できる	
		2週	自己とは何か	自我の多層性を理解できる	
		3週	自己とは何か	自我の多層性を理解できる	
		4週	社会的影響	他所の存在が自我構成に与える影響を理解できる	
		5週	社会的影響	他所の存在が自我構成に与える影響を理解できる	
		6週	人間関係	攻撃性と互恵的利他行動を理解できる	
		7週	人間関係	攻撃性と互恵的利他行動を理解できる	
		8週	集団の特性	人の集まりにより変化する意識・判断を理解できる	
	2ndQ	9週	集団の特性	人の集まりにより変化する意識・判断を理解できる	
		10週	子供時代の発達	人格形成の基礎になる事象を理解できる	
		11週	子供時代の発達	人格形成の基礎になる事象を理解できる	
		12週	子供時代の発達	人格形成の基礎になる事象を理解できる	
		13週	青年期・成人期の発達	自我同一性の確立を支える事象を理解できる	
		14週	青年期・成人期の発達	自我同一性の確立を支える事象を理解できる	
		15週	青年期・成人期の発達	自我同一性の確立を支える事象を理解できる	
		16週	前期末試験		
後期	3rdQ	1週	ストレスと心理的障害	ストレッサーとなる出来事を理解できる	
		2週	ストレスと心理的障害	ストレッサーとなる出来事を理解できる	
		3週	カウンセリング	人間関係を理解する手立てとしてのカウンセリングを理解できる	
		4週	カウンセリング	人間関係を理解する手立てとしての人間関係を理解する手立てとしてのカウンセリングを理解できる	
		5週	カウンセリング	人間関係を理解する手立てとしてのカウンセリングを理解できる	
		6週	臨床場面のカウンセリング	傾聴の意義を理解できる	
		7週	臨床場面のカウンセリング	傾聴の意義を理解できる	
		8週	心理療法と文化	文化の中の個人、個人の中の文化を理解できる	
	4thQ	9週	心理療法と文化	文化の中の個人、個人の中の文化を理解できる	
		10週	情動	生への欲求を理解できる	
		11週	情動	生への欲求を理解できる	
		12週	情動	生への欲求を理解できる	
		13週	動機づけ	欠乏動機と達成動機の違いを理解できる	
		14週	動機づけ	欠乏動機と達成動機の違いを理解できる	

		15週	動機づけ	欠乏動機と達成動機の違いを理解できる
		16週	後期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	2	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0